

# 第 42 回合志市地域公共交通協議会 【会議録要旨】

〔日時〕平成 29 年 12 月 15 日（金）14 時 00 分～

〔場所〕合志市役所 合志庁舎 2 階大会議室

〔出席者〕松永信弘委員、横山廣秋委員、寺本秀信委員、森邦弘委員、  
藤園直美委員、西郷節夫委員、塚本秀典委員、高山祐二郎委員、  
山邊尚幸委員、坂本高繁委員、野田徹志委員、小森田政憲委員  
吉田幸広委員、福田赴文委員、田中哲子委員、島川浩一委員  
田上英昭委員、中村公彦委員、土屋裕樹委員  
溝上章志委員、林省吾委員

〔代理出席〕熊本県広域本部 星出和裕

熊本市交通政策課 井手 賢正

社団法人熊本県タクシー協会 吉田光義

〔欠席者〕重光重信委員、小原勝委員、冨田廣志委員、石原政孝委員

宮崎真司委員、坂本昭文委員、山野一平委員

〔事務局〕坂本政誠政策部長、大茂企画課長、坂井課長補佐、鶴田主事

〔議題〕

報告及び協議事項

- （1）平成 29 年度コミュニティバス運行実績中間報告について
- （2）平成 30 年度事業計画（案）について

〔会議の公開・非公開の別〕 公開

## 1 開会

坂井課長補佐：定刻になりました。まずは挨拶から行います。皆様ご起立お願いします。

こんにちは。ご着席ください。

本日は年末のお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。今年も残すところあとわずかになりました。今回の会議で今年の地域公共交通協議会は最後となります。前回 5 月の本会議のあと 7 月に作業部会を開催しておりますが、その際作業部会の皆様には少しお話ししましたとおり、平成 27 年度策定の地域公共交通網形成計画の実施については、高齢による免許返納者への対応、南部地域からのデマンド型タクシ

一の要望の増加、また、熊本地震後のコミュニティバス利用者の減少など、様々な情勢の変化が出てきているため、抜本的な方針見直しを含め、専門コンサルタントも同席していきますので、開会に先立ち、ご紹介をさせていただきます。株式会社福山コンサルタントから南九州支店宮原課長、富松主任技師です。どうぞよろしく申し上げます。それでは開会したいと思います。はじめに、協議会会長の松永がご挨拶申し上げます。

## 2 あいさつ

松永会長：こんにちは、本日お集まりいただきありがとうございます。会長としてひとことご挨拶させていただきます。まず、本市を取り巻く状況は、変換期、変動期であるのではないかと考えています。たとえば、公共交通で言えば熊本電鉄さんをはじめとした路線バスの再編、いわゆるゾーンシステムの導入で路線を廃止したりしています。また、竹迫の開発、御代志駅周辺の開発、特に交通結節点としての整備を予定していますので公共交通も大いに関係してくるのではと考えています。本市の財政支出は年々増加の傾向です。教育の面では小中一貫校の大規模なプロジェクトも始まっていくということで、今後の財政状況はますます厳しくなっていくことが予想されます。地域の足である公共交通を持続的に確保していく必要があると考えています。そういった観点からも協議会のなかで有意義な議論をしながら公共交通網の形成を図っていきたいと思いますので、本日は忌憚のない意見をお願いして私のあいさつとしたいと思います。

## 3 議題

坂井課長補佐：それではこれから議事に入りますが事務局から公開会議についてあらためてお知らせします。この会議は、協議会設置要綱第4条に基づき原則公開の会議となっております。本日は2名の傍聴者がいますのでご了承願います。また、会議録を作成のため、録音しておりますので、ご発言の際には、お名前をお願いしたいと思います。では、協議会設置要綱、第3条2項に会長は協議会を代表し、会務を総理する。となっておりますので、この後の議事進行は会長をお願いしたいと思います。

松永会長：では議題に入りたいと思います。まず報告事項、議案 1 号  
平成 29 年度コミュニティバス運行実績中間報告について事務局より説明をお願いします。

**報告事項（1）平成 29 年度コミュニティバス運行実績中間報告について**  
～事務局より資料を説明～

松永会長：何かご意見等はないでしょうか。

塚本委員：循環バスの実績なんですけど、乗降調査をされたということですが、今期はいつごろされましたか。また、資料にある須屋線ダイヤ改正後の問い合わせについて教えてください。最後に須屋線に関してレターバスとの乗り継ぎの実績についてもお願いします。

事務局：3 点のご質問についてですが、まず、乗降調査の時期については本年度の 9 月 26 日から 9 月 30 日の火・木・土 3 日間の調査になります。次にダイヤ改正の問い合わせですが、昔のダイヤに戻してほしいと言った内容の問い合わせが多くなっています。最後に乗り継ぎについてですが、ほとんど利用はないと報告を受けていますが、正式な乗降調査報告がでてからまたお答えしたいと思います。

塚本委員：わかりました。それでは乗り継ぎはゼロというわけではないんですね。また報告をお願いします。

松永会長：他にありませんか。

森委員：運行経費について、資料によると増加していますが、経費算出方法について教えていただきたい。

事務局：こちらについては 1 k m あたりの単価で契約をしております。

森委員：わかりました。

松永会長：他にありませんか。後ほどありましたらおっしゃってください。

## 協議事項（２）平成30年度事業計画（案）について

～事務局から資料を説明～

松永会長：何かご意見、ございませんか。

西郷委員：H28 年末の東西線を走らせる話がありましたが、庁舎一本化する場合は必要となってくるのではないのでしょうか。  
コミュニティバスの利用者が減ってきているので出前講座でもっと乗り方等を説明するとともに、バスに乗っていない人から話を聞いてみてはどうでしょうか。

事務局：東西線については庁舎を一本化することで必要となってくることは認識していますが、竹迫開発が遅れているため現在見合わせているところです。  
また、出前講座についてはこちらからアナウンスをして区長会等で案内をしたいと考えています。  
バスに乗っていない方への調査というのが、今まで実施したことがありませんので、今後検討したいと思います。

松永会長：今、質問の中で庁舎の統合の話がありましたが、確定はしていませんが、全ての機能が一本化というわけではなく、手続きについては今までどおりできるものも残していく予定であることをご了承ください。

塚本委員：私も東西線については必要と考えています。そこで、差し支えない範囲で結構ですので、竹迫地区開発の商業施設に関しての進捗状況、テナントの状況、来客の予想が分かれば教えていただけないでしょうか。

松永会長：私が答えていいかどうかは分かりませんが、当初の計画では11月にオープンの予定でしたが、地震による人手不足やテナントが決まらないなど事情があり遅れている状況です。今のところ一部は春にオープンする予定です。

塚本委員：ぜひ、公共交通で渋滞対策を一番に考えていただいて、東西線が運行できる環境にしていいただければと思います。

森委員：免許の返納等で公共交通が必要なことは実感しています。

高齢者老人会に所属していない方も結構多いので、積極的に公共交通のPRを行っていただきたいと思います。

事務局：情報収集等を含めてPRを行っていききたいと思います。老人会もそうだが、広報誌も活用していききたいと思います。

高山委員：新須屋駅や御代志駅にあるパーク&ライドの利用実績が非常に増えてきていますが、交通結節という重要な施策のひとつだと思いますが、詳しい利用状況を教えてください。

事務局：市が管理を委託している新須屋駅については毎月報告がありますが、御代志駅についてはこちらでは把握していません。新須屋駅に関しては、月極で平均40台の契約があり、キャンセル待ちもあるほどです。日貸でも月で50～80台程度の利用があります。

松永会長：少し補足しますと、御代志駅も北側を拡張してパーク&ライドの駐車場を設置しています。地震以降バスから電車へお客さんが流れている関係で利用は増えてきています。

高山委員：非常に交通結節点は重要になるかと思いますので今後もよろしく願いいたします。

松永会長：他になればご承認という事でよろしいでしょうか。拍手をもって承認とします。

[ 拍手 ] → 承認

ありがとうございます。第2号議案は承認されました。以上で本日の協議は終了します。  
最後に質問はありませんか。

塚本委員：前回の協議会からコンサルタントに頼む関係でずいぶん時間がたっていますが、今後コンサルタントを交えてどのようなことをされるか教えてください。

事務局：現在市の財政が圧迫されている状況を踏まえて、今後の持続可能な公共交通のあり方であったり、事例等について調

査をお願いしています。最終的には限られた財源で維持できるような方策を検討していく予定です。

松永会長：ありがとうございました。それでは事務局にお返しします。

#### 4 その他

坂井課長補佐：その他ということで事務局からは1点お知らせがあります。

事務局：今後のスケジュールについてです。1月と2月に作業部会、3月に協議会を予定しています。また、例年フィーダー系統の事業評価ということで書面決議を行っています。これらについては後日案内を送付しますが、よろしく申し上げます。

#### 5 閉会

坂井課長補佐：これをもちまして会議を終了します、ありがとうございました。